

## 神戸市立中学校における標準服（制服）の現状

### 1. 学校ごとに異なる標準服

本市では、全市統一の標準服は定めておらず、市立中学校82校それぞれが独自のデザインの標準服を採用している。なお、名称としては「制服」ではなく「標準服」を使用している。

#### メリット

- ・標準服を通して所属意識や愛校心、連帯感等を養うことで、教育効果を高めることができる。
- ・在学生だけでなく、卒業生や保護者にも愛着があることで、息の長い支援を受けられる。
- ・生徒指導の観点からも、生徒の所属校を識別しやすいという利点がある。

#### デメリット

- ・学校によって標準服の価格にばらつきがある。
- ・生徒数が少ない学校では、数量が小さいために単価が高くなりやすい傾向がある。
- ・市内で転校した場合にも標準服を買い換える必要がある。

### 2. 詰襟とブレザーの割合

デザインの見直し等を契機として、ブレザータイプの制服を採用する学校が増加している。

【表1】男子標準服：詰襟・ブレザーの内訳（区別）

区	校数	内訳		
		うち詰襟	うちブレザー	ブレザーの割合
東灘	7	6	1	14.3%
灘	5	3	2	40.0%
中央	7	4	3	42.9%
兵庫	5	2	3	60.0%
北	17	11	6	35.3%
長田	6	1	5	83.3%
須磨	11	5	6	54.5%
垂水	11	3	8	72.7%
西	13	4	9	69.2%
合計	82	39	43	52.4%

### 3. 価格帯

デザイン（詰襟、ブレザー）、混毛率（素材中にウールが占める割合）、生徒数等に応じて価格が変動するため、学校によって価格にばらつきがある。

ブレザーの方が詰襟より高く、混毛率が高いほど価格が高く、また、生徒数が少ない学校の方が価格が高いという傾向がある。

【表2】標準服の最高価格と最低価格（男女別）

〈男子〉

項目		学校名	価格	備考
上着	最高	A中学校（ブレザー）	22,990円	生徒数が少ない
	最低	B中学校（詰襟） C中学校（詰襟）	14,530円	混毛率が低い（毛20%、ポリ80%）
ズボン	最高	D中学校（ブレザー）	11,650円	
	最低	E中学校（詰襟）	5,260円	ポリエステル100%
上・下セット	最高	A中学校（ブレザー）	34,440円	生徒数が少ない
	最低	E中学校（詰襟）	19,950円	ポリエステル100%

〈女子〉

項目		学校名	価格	備考
上着	最高	A中学校	22,000円	生徒数が少ない [男子：ブレザー]
	最低	C中学校	11,830円	[男子：詰襟]
スカート	最高	F中学校	17,500円	[男子：ブレザー]
	最低	E中学校	8,890円	[男子：詰襟]
上・下セット	最高	A中学校	36,300円	生徒数が少ない [男子：ブレザー]
	最低	G中学校	22,500円	[男子：ブレザー]

#### 4. 保護者の経済的負担軽減のための取組み

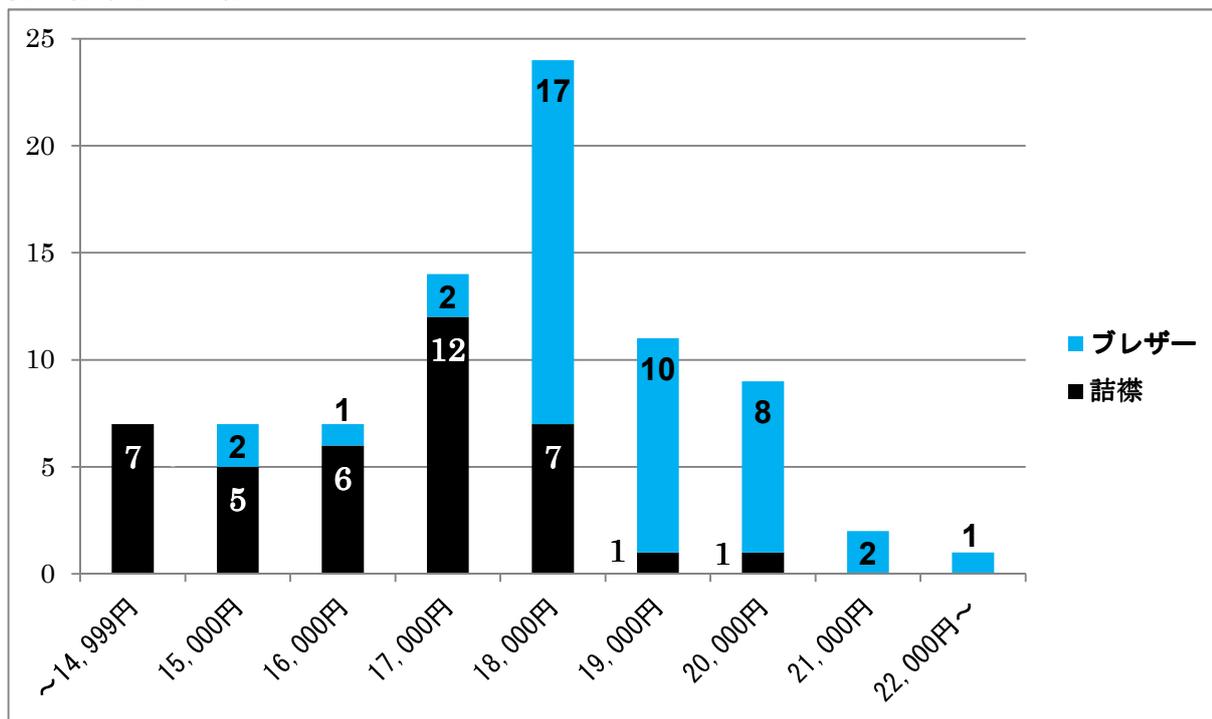
多くの学校において、PTA等が主体となり、卒業生の標準服をリユースする譲り受けの取組みを行っている。

#### 5. その他

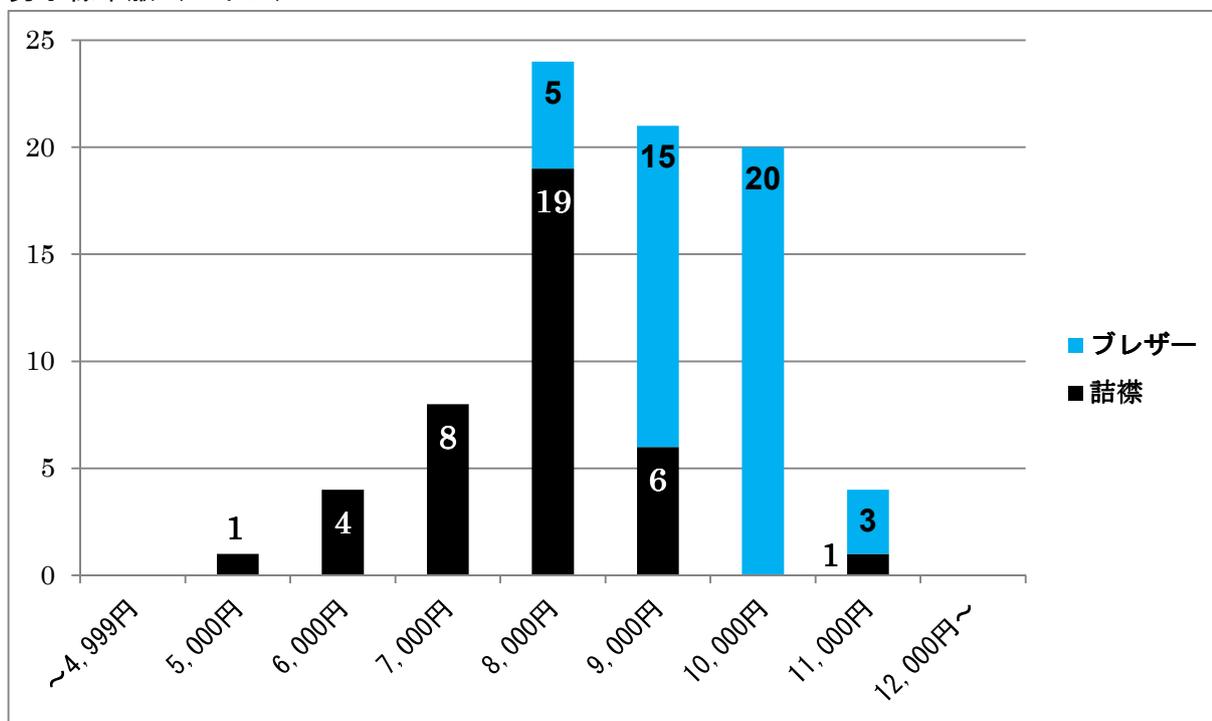
市立中学校82校のうち7校において、女子生徒が着用可能なスラックスを導入している。

【グラフ1】標準服の価格帯別校数（男女別）

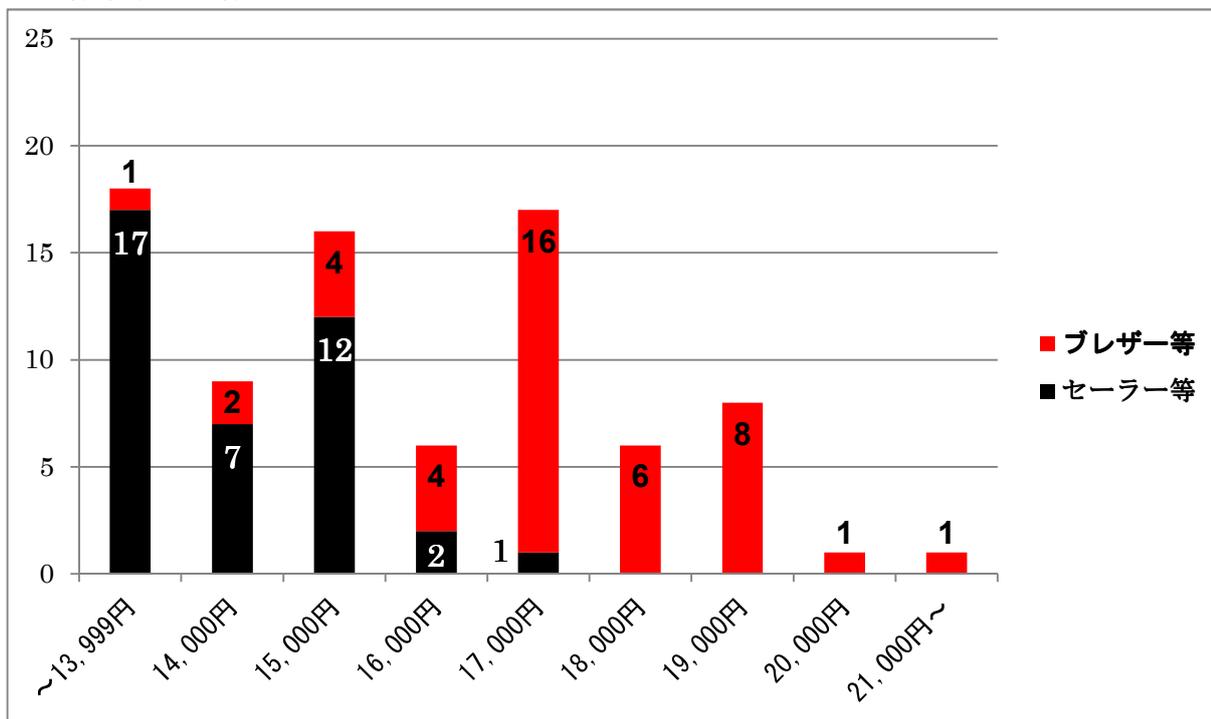
男子標準服（上着）



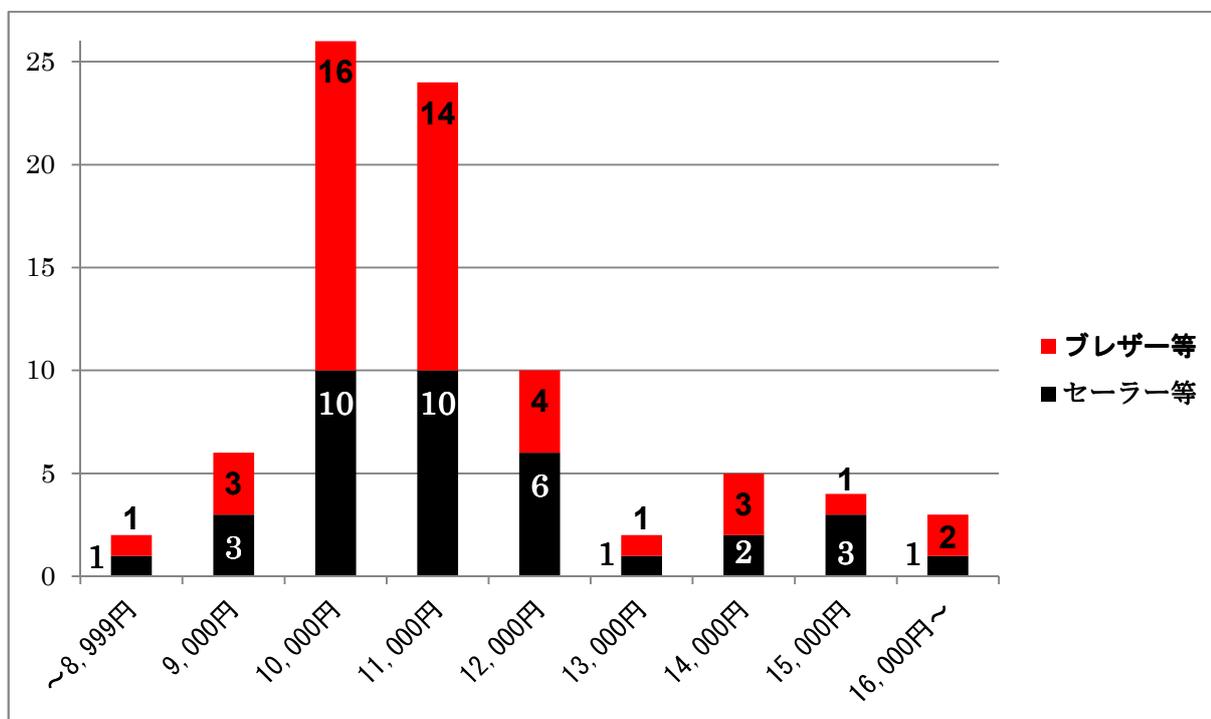
男子標準服（ズボン）



女子標準服（上着）



女子標準服（スカート）



## 神戸市立中学校標準服に係る見積り合わせの実施

### 1. 概要

保護者の経済的負担の軽減、指定業者の公正・公平な選定を図る観点から、市立中学校の標準服（及び学生靴、体操服）について、見積り合わせによる業者選定を順次実施している。平成 29 年度は試行的に 5 校で実施し、30 年度からは概ね 20 校ずつ実施している。

### 2. 実施方法

- ・各校は 5 年に一度、複数（基本的に 5 社以上）の取扱業者による見積り合わせを実施して指定業者を選定し、覚書を締結する。
- ・原則として、現行の標準服をもとに、各校で仕様書を作成する。外部委託業者が仕様書の作成や指定業者との覚書締結について各校を支援する。
- ・新たな標準服を採用する学校は、コンペティション等の方法により指定業者を選定する。
- ・指定業者や学校の準備期間を考慮し、見積り合わせ実施年度の 2 年後から、当該変更を適用する。
- ・令和元年度から、新たな方法として、予定金額以内の見積額を複数者が提示した場合、予定金額以内であれば全てを指定業者として取扱う方法を導入している。

### 3. 実施校

原則として、現行の標準服価格が高い校を優先し、区ごとのバランス等を考慮しながら実施校を選定している。

年 度	校数	学 校 名
平成 29 年度	5	長峰、湊翔楠、長田、高倉、塩屋
平成 30 年度	19	向洋、烏帽子、港島学園、夢野、湊川、須佐野、桜の宮、北神戸、丸山、鷹取、横尾、西落合、垂水、歌敷山、多聞東、舞子、井吹台、押部谷、神出
令和元年度	20	御影、原田、筒井台、有野北、唐櫃、山田、小部、大原、鈴蘭台、星和台、八多、西代、太田、友が丘、白川台、垂水東、本多聞、櫛谷、桜が丘、岩岡

### 4. 実施結果

29、30 年度の実績では、見積り合わせ実施校のうち約 40%の学校において価格が低下した。しかし、値下がり幅は△40 円（△0.1%）～△1,940 円（△3.8%）に留まった。

実施年度 (適用年度)	29 年度 (31 年度入学者から適用)	30 年度 (32 年度入学者から適用)
実施校数	5 校	19 校
うち値下がり校数 (割合)	2 校 (40%)	7 校 (37%)
値下がり幅	△800 円 (△1.3%) ～△1,940 円 (△3.8%)	△40 円 (△0.1%) ～△1,400 円 (△3.2%)